



2年道徳ゲスト・ティーチャー 上村さんから「お法使祭り」について学ぶ

3・4年生も「子どもガイド講座」でお世話になっている上村さん。今回は、2年道徳「まつりにこめられたねがい」で、ゲスト・ティーチャーとしてお越しいただきました。子供たちは、「しめ縄」「お賽銭」という言葉にも「?（ハテナ）マーク」が飛び交う現状がありますが、お祭りについて、子供にも分かりやすく教えていただきました。皆様も御存知のとおり、お法使祭りは、「常設の神殿を持たず、ご祭神であるお法使が神幸した地区に設けられるお仮屋に一年間奉祀され、次の地区に移られるという形式を採って十二の地区を巡る祭り（「津森神宮 お法使祭」から抜粋）」です。網羅される地区は、西原村、菊陽町、益城町と3つの行政区にまたがっており、初めてこの祭りのことを聞いたとき、非常に興味深いと感じました。上村さんからは、この祭りのあらまし、様子などを、写真やお手製のボードを使って説明していただきました。昔の人々が、豊作の願いを込めて祭りを執り行ってきたことなど、連綿と続く祭りの価値や意味に気づくことができる時間だったと思います。（上村さんから、戸次にも「妙見さん」がいらっしやとお聞きしました。今度訪問してみたいと思います。詳しい方がいらっしやいましたら、ぜひ教えてください。）これからも大切に守っていききたい祭りです。



前途洋々

前期が終わりました！ 全員元気で終わったことが何よりです！

4月に新年度が始まり、ついに折り返し地点を過ぎてしまいました。毎年思うことですが、こうやって一年一年が過ぎ、子供たちはあっという間に見違えるように成長するのだな、と・・・。

大きなケガや事故等もなく無事に半年を過ごすことができたのは、保護者の皆様、学校の教育活動にご協力いただいた地域の皆様のお陰です。改めてお礼申し上げます。

さて、最後の全校集会で話したことを少し紹介します。何度もこのお便りで触れてきたように、本校には「六つの名人」という行動指標があり、子供たちはこの名人を目指しています。再度確認しますと・・・

- 1 あいさつの 名人
- 2 聞き方の 名人
- 3 かたづけの 名人
- 4 そうじの 名人
- 5 ハイの 名人
- 6 ことばづかいの 名人



です。いろいろな場面でこれらのことに触れますが、わたし自身、いつからか、「何か足りないなあ・・・」と感じるようになりました。そして「ありがとう」の名人も必要だな、という結論に至りました。

子供たちの様子を見てみると、例えば、朝、バスから降りてくるとき、とても自然に、運転手さんに対し「ありがとうございました！」と言える子もいれば、こちらから促してやっとと言える子など、その様子は様々です。おうちではいかがでしょうか。そこまで改まった場面ではなく、ちょっと何かを手渡したタイミングでも「ありがとう」が言えるなど、あいさつと同じくらい習慣にできれば、気持ちよい空気の中で、円滑な人間関係を築きながら生きていけるとおもいますがいかがでしょうか。

私たちの体は私たちが食べたものだけではなく、私たちが日々発する言葉でできているような気がします。その点を忘れずに学校での指導も行っていきたいと思います。

後期も、皆様の変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。なお、短い秋休みですが、生活のリズムを崩すことのないよう、見守りをお願いいたします。お世話になります。